

ヘルスケアに関する事前指示

ヘルスケアに関する事前指示（別名「ヘルスケア委任状」）に基づき当事者（あなた）は代理人を任命して自分の代わりにヘルスケアに関する決定を行わせることができます。この文書中でこれと異なる申出をしない限り、あなたが能力を失ったときには代理人だけがあなたのための決定を行うことができます。

業務の執行－能力喪失に備えての計画

能力喪失とは財務処理と身の回り事項について合理的な決定をする能力の喪失を意味します。能力喪失は精神が衰える病気になったときあるいは昏睡状態になったとき誰にでも起こりますが、多くの場合は認知症の高齢者に発生します。事前に対策を行わないとき、能力喪失は能力を喪失した本人とその家族に多大の問題を生み出します。

例えば、能力喪失者が本人のために健康上の決定を行う者をまったく指名していなかったときは、医師と家族は本人の医療上の希望を知らないことがあります。このような理由から、能力喪失に対処する最善の方法は本人の精神状態が健全な間に計画を立てることです。

あなたにとり重要なことを特定します

能力喪失対策への計画第一歩は発生する問題について考えることです。どのような処置を望むかあるいは望まないか？ということです。自分は生命維持医療装置の装着を望むかどうか？ということです。だれが私に代わってその決定をするか、だれがその人物の予備人になるか？ということです。これがあなたの「ヘルスケアに関する事前指示」に記載する情報です。

私が「ヘルスケアに関する事前指示」をしていなかったときはどうなりますか？

本人がすでに精神的能力を喪失しており、能力喪失に対する計画がなく、「ヘルスケアに関する事前指示」もない場合、介護提供者は裁判所に「補佐人請願」を行いその当事者のための個人的事項の処理を可能とする裁判所命令を求める必要があります。

あなたは代理人にどのような権利を供与することになりますか？

本人がまだ精神的能力があるときは、「ヘルスケアに関する事前指示(AHCD)」を作成することができます。「ヘルスケアに関する事前指示」によって能力保有者は希望する医療の種類および自分の意思を代理する者を示すことができます。あなたは「ヘルスケアに関する事前指示」の中で医療記録閲覧権から臓器移植提供権に至るまで限定的あるいは広範な権限を代理人に供与することができます。また従うべきヘルスケア指示を具体的に特定することができます。あなたが能力を有する限り、取消と新規作成によって「ヘルスケアに関する事前指示」の更新ができます。「ヘルスケアに関する事前指示」を有効にするには、病院および上級法務機関または上級情報および紹介制度から入手できる「ヘルスケアに関する事前指示」フォームに署名しなければなりません。CANHRはまた[無料の記入](#)

[の仕方付き「ヘルスケアに関する事前指示」フォーム](#)を提供しています。「ヘルスケアに関する事前指示」の作成に当たっては弁護士と同席は必要ありません。多くの州（カリフォルニア州を含む）では本人がフォームに署名するに当たって成人者2人または公証人が証人として同席しなければなりません。

注意: 1992年以前に永続的委任状(DPAHC)を作成した場合は、期限切れです。カリフォルニア州ヘルスケア決定法がそれ以前の通達を AHCD に統合した 2000年以前に DPAHC を作成した場合は、フォームが失効しておらず作成者の意思を反映しているか否か確認しなければなりません。

生前信託およびその他の管理手法

生前信託を得る場合であっても、受託者はあなたに代わって一部の医療上の決定を行う権限を持たないため、引き続き「財務およびヘルスケアに関する事前指示のための永続的委任状」を取得しなければなりません。

For more information on planning for incapacity, contact CANHR's **Lawyer Referral Service (LRS)**. The LRS can answer questions and make referrals to qualified attorneys for legal advice.能力喪失に対する計画の詳細については、**CANHRの弁護士紹介サービス(LRS)**にご連絡ください。LRSはご質問にお答えし法的助言のために有資格の弁護士にご紹介します。